

# 幼児の発表力について

『研究発表』

治子 関

普段口数が少く、何か聞いてもなかなか答をせずに「うん」と頭でうなずくだけで用を足してしまうような子どもが、私と一人きりで庭にいる時、家の出来事などをすらすらと話して驚感を感じると同時に、とてもうれしかった事がある。

特別の障害のない限り、自分の言葉で話すという事が出来るようになっている幼児では、黙って静かに遊ぶというよりは、本来の姿はむしろ、『話しづき』なものだと思うが、一旦集団の中に入ると、すっかり変ってきてしまう。

その人の持っている言語の能力（語彙数・文章の使い方）というものにプラスして、性格、殊に集団の中に入った時の社会性などが

随分大きな力を持っていると思う。『自分一人で』という事と『自分をよく知っている親しい家族の中で』『親しい友達の中で』『はじめて遊ぶ友達の中』『見知らぬ集団の中』、こういう対人関係の場が違うことに適応していくのは大変な事だと思う。私達大人でも、対人関係の場というものは、個性が強くなっているので、すべてに適応していくといふ事は出来ないが、抑制する力というものが一

方にあるから、その場その場を対処していく、という事も出来てくる。

対人関係の社会集団のはじまりである幼稚園に於て、人の中、人の前で話す、という事を考えてみた時に、幼児の特性として、次のような事を感じた。

1. 幼児は、場の不安というものがなければ、人と話すのを好む。

2. 自分の経験した事、或は幼児独特のうそを得々として話したがる。

3. 人を意識して話したり、自分というものを認めて貰いたがる。

このように一般に話したがる傾向を持つているようである。これが更に年令的に進んでいくと、幼稚園では、幼児の知らない単語をどれだけ沢山覚えさせるかとか、文字を教えるという所に教育の目標があるわけではなく、集団社会の中での、望ましい社会生活を送るよう、自分の意志というものを人に正しく通じ、人の意志もよく聞き、判断をするような所に目標も意義もあり、又それだけの困難もあると思う。

そこで、一体人の前で幼児はどれだけ自分

うたった。

を発表するものか、「人の前で」という特別条件を考慮して、今迄の二年余りの経験をふり返つてみた。

これは意図的に実験的な資料ではないが、保育日誌に記録された結果で、計画的な研究でない点はおことわり申し上げたい。

人の前で発表する場面を考えてみると、

自由会話

生活発表

(一) 言語

話

合

お

話

童話

創作

話

芝居

紙芝居

(二) 言語

動作

合

(三) ゆうぎ

など動作を伴うもの

(四) 劇あそび

知能検査

言語のうち、自由会話は記録もむずかしく、友達同志の会話では私のきいていい事が沢山あるので、私の実際にきいた生活発表をとりあげてみた。

### 三年保育のときの実態

男児九名、女児九名の計十八名の一クラス。三年保育の為、生活発表の機会は少く、十月からはじめ、それと併行してうたは皆の前で

ずっと多くした。

#### 1. 生活発表

一人でうたえる		男	女
うたいたいがうたえない	男	女	男
出て行つてはひきかえす	男	女	0 1
全然しない	男	女	3 0
三人保育の一年間を通して	男	女	2 3
人の前で積極的に発表したがる	男	女	4 3
発表はするが自発的でない	男	女	5 3
人の前ではなかなか発表出来ない	男	女	1 2
	男	女	3 4

人の前でなかなか発表出来ない子ども		男	女
は、他の幼稚園生活がまだスムースにいつていよいし所に理由もあるが、全然出来なかつた七人も三人に減じた。却つて、無邪気に入前でしたがる子どももいるわけで、何かにつけて、雰囲気をもりたててみたが、何積極的な子どもが八人にもなった。	男	女	男
人の前でなかなか発表出来ない	男	女	5 3
人の前ではなかなか発表出来ない	男	女	1 2
	男	女	3 4

皆の発表の折、私自身も何でもないつまらないような、実は本当の生活経験を話すと、つられて同様に話す子どもも出て来た。九月頃から、特に発表したがる子どもが、くわしく長く一日の出来事を話す傾向が出て来た。これは男児三人であったが、他の大部分は、比較的短くて、こちらから質問を加えたりして完全な話しになる場合が多かった。又、子どもは過去・未来の時の観念がはつきり把握されていない為、友だちが○○へ行ったというと、自分も以前行った事のある○○に昨日行ったような気になつて話す事もあつた。年少に行く程多いと思う。

### 二年保育のときの実態

三年保育からの男女児十八名に、新入の男児十名、女児十名の計三十八名の一クラス。発表の機会は一年を通して生活発表十三回、うたの会二回、劇あそびの話し合い四回、自由紙芝居の発表、その他の話し合いなどで、

## 二年保育の一年間を通して

よくくわしく長く話せる

女男

いつも普通に話せる

男

(この中にはいつも短い話、いつも)

女

(小さい声のものもある。)

男

話はするが途切れ易い

女

(この五人はいずれも新人のもの)

男

(この五人はいずれも新人のもの)

女

0 5

## 2. 歌

ある日「なるべく一人でうたいましょ。」  
という事でうたをうたつた。

一人でうたう	女男	男	女男	男
二人でうたう	女男	男	女男	男
三人でうたう	女男	男	女男	男
四人でうたう	女男	男	女男	男

0 4 3 0 6 4 6 10

組んでうたう時は同性同志で、仲のよい友だちだった。

歌となると歌詞とメロディーを知っていなくてはならず、集団の前では余計気おくれがするが、子ども達は歌が好きであるからうたの会のような形式にして楽しませたり、或は二・三人に皆でうたった後うたわせたり、ごつこあそびの中で一人ずつうたわせてみた。指名しても憶せずに歌うもので、いつも同じ

子どもを指名しない事を気をつけた。

## 3. 劇あそび

劇あそびでは、はじめの話し合いから、役の決定、動作、セリフなどすべて人の前で発表しなくてはならない。思わぬ子どもの性格の障害にぶつかったり、保育者が普段気をつけながらもその子どもについて固定した観念を持ってしまいがちなのに、よい反省となり、よい収穫にもなった。

劇といふ雰囲気にあこがれてか、子ども達の劇に対する意欲と劇あそびの喜び方にはおどろかされた。

組一番の権力者でリーダーであつた男児

が、意外にも、自分のなりたい役が、最後まで皆の前で意志表示出来なかつた。リーダー

として体力的に優れていたが、大変意地なしで、お話の発表も不得手であった。翌年の劇あそびでも役をきめるのに又、同じ事をくり返していた。

## 4. 知能検査時の発表のようす

特に知能検査という特別な場面をとり上げて、お話を発表も不得手であった。翌年の劇あそびでも役をきめるのに又、同じ事をくり返していた。

これは、子ども達に数多く接している私が、検査者となって一人ずつ実施したので、特別なテストの雰囲気の中での発表の態度を見る事が出来たからである。

ここでは、I・Qとの関係はふれない事としないといつて引きさがり、残りの一人がしき事がある。日頃わけわからずの所があり、余り発表も得意ではないが、私自身この子ども

についてはよくわからずいたのであるが、よく落ちついて、思いがけずしっかりし、今まで片鱗すらみられなかつたのみ込みのよさにおどろいた事もあった。

セリフは比較的短く簡単なものが多く、多勢で云う場合が多かつたが、生活発表でよく出来ない五人は、この劇あそびでも殆ど聞えない程の声だった。こういう子どもには、動作などよい時にほめたり、何かの形で自信を持たせるように指導してみた。なかなか自分が役をきめられない子どもには、してみて出来なければ他の役をしてみてもよいし、絶対的でない事を話して、迷わず一応きめるよう指導した。

生活発表でくわしく出来た四人

劇あそびなどをした。

#### 1. 生活発表

長くわざく話せる (このうち三人は三年保育より)		男	女
普通	(時々長く話せる)	男	女
男	女	男	女
3	2	16	10
		0	7

長く話すがある  
普通 (時々長く話せる)

#### ▲Bについて▼(男児)

失わせぬよう注意し、普段の遊びやおべんとう時に近くに坐って、誘いかけて質問しては話すように仕向けて、段々と間をおかず云えるようにしている。

何か難点がある

#### 1. 発表の状態

「さ行」が言いにくく、発音はつきりせず、皆の方をみないで、私の方ばかりみている。うたは鼻声。

長く話す子どものうち創作話一人、桃太郎の話一人した。

#### 2. 発表の状態

おとなしくて、一つの事を長くしている。

すぐに話が出来ず、一分二分と考えたりだまってそれから話し出す。五回のうち三回までテレビをみた話題。うたもうたい出しがおそい。

#### 3. 日常の状態

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、適切な答をする。

#### 4. 家庭の状態

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 5. 指導

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 6. 原因

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 7. 独り言

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 8. 集中力

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 9. 耐久力

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 10. 余り口をきかず

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 11. 顔をみている

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 12. 一年保育のときの実態

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 13. 一年保育はまだ約二ヶ月にすぎないが、この

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 14. 生活発表五回、話し合いは雨の日、遠足、

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 15. この子どもには暫く話し出さずに立つて

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 16. 生活発表では普通に出来る二十九人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 17. よく粘つて考える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 18. 真剣な態度でしている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 19. 活潑さがないが答える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 20. 生活発表の時と同じ態度調子である。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 21. 謝りがで役のきめられない男児

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 22. 言葉や表現を知らないのか迷う事が多

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 23. 生活発表不得手な五人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 24. 答はするが、途切れ途切れ話す。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 25. 答にうかつなところがある。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 26. なかなか返事をしない。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 27. 一旦だまってしまうとなかなか返事し

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 28. 顔をみている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 29. 一年保育のときの実態

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 30. 一年保育はまだ約二ヶ月にすぎないが、この

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 31. 生活発表五回、話し合いは雨の日、遠足、

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 32. この子どもには暫く話し出さずに立つて

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 33. 生活発表では普通に出来る二十九人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 34. よく粘つて考える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 35. 真剣な態度でしている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 36. 活潑さがないが答える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 37. 生活発表の時と同じ態度調子である。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 38. 謝りがで役のきめられない男児

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 39. 言葉や表現を知らないのか迷う事が多

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 40. 生活発表不得手な五人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 41. 答はするが、途切れ途切れ話す。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 42. 答にうかつなところがある。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 43. なかなか返事をしない。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 44. 一旦だまってしまうとなかなか返事し

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 45. 顔をみている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 46. 一年保育のときの実態

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 47. 一年保育はまだ約二ヶ月にすぎないが、この

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 48. 生活発表五回、話し合いは雨の日、遠足、

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 49. この子どもには暫く話し出さずに立つて

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 50. 生活発表では普通に出来る二十九人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 51. よく粘つて考える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 52. 真剣な態度でしている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 53. 活潑さがないが答える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 54. 生活発表の時と同じ態度調子である。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 55. 謝りがで役のきめられない男児

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 56. 言葉や表現を知らないのか迷う事が多

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 57. 生活発表不得手な五人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 58. 答はするが、途切れ途切れ話す。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 59. 答にうかつなところがある。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 60. なかなか返事をしない。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 61. 一旦だまってしまうとなかなか返事し

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 62. 顔をみている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 63. 一年保育のときの実態

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 64. 一年保育はまだ約二ヶ月にすぎないが、この

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 65. 生活発表五回、話し合いは雨の日、遠足、

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 66. この子どもには暫く話し出さずに立つて

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 67. 生活発表では普通に出来る二十九人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 68. よく粘つて考える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 69. 真剣な態度でしている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 70. 活潑さがないが答える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 71. 生活発表の時と同じ態度調子である。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 72. 謝りがで役のきめられない男児

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 73. 言葉や表現を知らないのか迷う事が多

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 74. 生活発表不得手な五人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 75. 答はするが、途切れ途切れ話す。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 76. 答にうかつなところがある。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 77. なかなか返事をしない。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 78. 一旦だまってしまうとなかなか返事し

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 79. 顔をみている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 80. 一年保育のときの実態

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 81. 一年保育はまだ約二ヶ月にすぎないが、この

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 82. 生活発表五回、話し合いは雨の日、遠足、

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 83. この子どもには暫く話し出さずに立つて

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 84. 生活発表では普通に出来る二十九人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 85. よく粘つて考える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 86. 真剣な態度でしている。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 87. 活潑さがないが答える。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 88. 生活発表の時と同じ態度調子である。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 89. 謝りがで役のきめられない男児

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 90. 言葉や表現を知らないのか迷う事が多

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 91. 生活発表不得手な五人

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

#### 92. 答はするが、途切れ途切れ話す。

おとなしくて、

「さ行」が言いつづきりせず、

</

## 2. 劇あそび

自分の役がきめられない

セリフもよく云える  
(このうち男児二人は生活発表でもよく出来る)

普通に云える

よく云えない

(口がすぐきけない)  
(極端に声が小さい)

男	男	男
女	女	女
3	3	12

皆が大きい声で云う事と、云えない役になつて嫌がる時にはかえり、他の役でよかつた時にはほめてあげるという指導法をとつた。

### 3. 家庭調査

人前で発表するのに、お家の方は御自分のお子さんをどのようにみていられるか調査してみた。

	無口で困る	早口	独り言	人がいると喋らない	はつきり云わない	普段無口で喋り出すと止まらない	先生になじまない	友だちになじまない	こまかい事を気にする	あき易い
男	男女22	男女22	男女0	男女0	男女0	男女0	男女0	男女0	男女18	男女1
女	男女22	男女0	男女0	男女4	男女0	男女10	男女2	男女1	男女3	男女3
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
3	3	3	3	4	0	10	2	1	3	1

人がいると喋らない 2 独り言 1  
「さ行」が変である 1 憶病 1  
こまかい事を気にする 3

特にお家の方も、人前で話せなくて困る事を訴えて居られた。

## 考 察

以上が二年余りの幼稚園に於ての人の前でとくいう限定された場面からみた発表力の実態であるが、子どもには次のような型(特徴)があるようと思つた。

1. 無邪氣に歌でも話でもすぐに出来る。

2. 知っている人、なれた人の前だと、とてもよく話したり発表する。

3. いろいろな人と交わらず、いつも特定の人としか遊んだり話したりしないが、人の前で割合と自分を発表出来る。

4. 遊びには積極的でリーダーにもなり、活潑であるが、人の前では一人で云つたり意志表示出来憎い。

5. 家でもどこでも人の前だと話せない。

6. 神経質で、些細な事が気になつて、口をきく事が出来ない。

7. 発表するまでに考えをまとめたり、云う事をおもい出すのに時間がかかる。

8. 発音や話し方にくせがあり、それが障害となつて話しつぶく。

これら発表力の有無は複雑な原因が重なり合つて一概に云えないと思うが、原因として次の事を考え、お家のようにお家の方の意見

も伺つて検討し、指導方針をたてるようにして来た。

### 1. 先天的なもの

2. 現在の家庭環境による。  
3. 神経素質による。(人の前にたつと恐ろしい。すぐ悲観する。自分の才能に自信がない等)

4. 感情不安定による。

5. 社会性欠乏による。

6. 言語機能に障害がある。

発表力といふものは、一つの例えれば生活発表という面からのみ、みていくのでなく、思われる機会にその子どもの違う面を見出す事ががあるので、その子どもに固定観念を持ってしまわぬよう注意し、視野を広く持つていかねばならないと思う。

特に児童心理学でも、現在では児童語の研究というより、言語は言語だけではなく、思われる無力であつて、その周囲があつてはじめて意味と力を持つてゐるという言語心理学の考え方の主流があり、言語社会学というものが、近來勢力を得て来ていて、言語の社会的拘束や、微妙な感情的差異などに気付かれはじめている。

言葉を使って発表する事が、言葉だけの問題でなく社会的拘束や微妙な感情で果せたり果せなかつたりする事が、子どもたちの実際を通じてよくわかつたと思う。今後は今迄の体験をいかして指導を考慮していきたいと思う。(お茶の水大附属幼稚園教諭)